

戦争への道を許すな！憲法違反の安全保障法案の可決・成立を断固として糾弾する！

2015年9月19日、安倍内閣は多くの国民が「戦争反対」の声をあげている中で、「安全保障関連法案」を参議院本会議で可決・成立させるという暴挙にでた。このことにより日本は戦後70年守り抜いてきた「平和のブランド」を投げ捨て、戦争する国への第一歩を踏み出した。歴代政権が憲法9条に反すると禁じてきた集団的自衛権行使を憲法解釈の変更で可能にし、安保関連法の成立によりアメリカの戦争へ巻き込まれる可能性は強まったのである。そして一旦、日本が有事の状態に入ればJR各社は「指定公共機関」として非常事態法に組み込まれ「安全保障関連法」に基づいた業務を遂行することになる。つまり、輸送業務を通じて戦争に加担させられるのである。

私たちサークル協議会を構成する各サークルの活動は平和が大前提である。アマチュア無線部の仲間は「戦争状態になれば電波法により無線は全て国家に管理され楽しむことは出来なくなる。」と語っていた。文芸や絵画の世界ではペンや絵筆によって戦争に協力させられた。野球においては「ストライク」「ボール」といった用語さえ敵性言語として使用を許されなかった苦い歴史があるのである。この歴史を繰り返させる訳にはいかない。私たちは数の暴力により民主主義を否定し、憲法の解釈変更により立憲主義を否定した今回の暴挙を断じて許すことはできない。

戦争の危機を目の当たりにし、連日国会前には「安全保障関連法案」に反対する人々が結集し、今までにない抗議行動が繰り広げられた。その声は日増しに大きくなり8月30日には12万人が国会周辺を埋め尽くした。そして従来は抗議行動の中心だった労働組合や政党、市民団体に加え学生や女性、知識人や文化人まで、まさに世代や性別をこえて全国各地の大きなうねりとして創り出してきた。このうねりを更に大きくし、あらゆる戦争行為を阻止しよう！そして安倍政権から憲法の理念である平和・人権・民主主義、そして立憲主義を取り戻そう！その為にたしろかおる参議院議員と連帯し安倍政権にNO！を突き付けよう！

私たちはサークル活動をつうじて豊かな日々と自己の実現を目指し、仲間との絆を深め平和な社会を創り出すために今後もたたかっていく。そして怒りをバネにたしろ応援プロを貫徹させていくものである。サークル協議会に結集する全ての仲間の皆さん！共にたたかおう！

2015年9月30日
東日本旅客鉄道労働組合
サークル協議会